

2019年 春（3月～5月）の天候経過

令和 元年6月3日
新潟地方气象台

1. 北陸地方の今春（3～5月）の特徴

【高温・かなりの多照】

3月、4月の天気は概ね数日の周期で変わったが、5月は高気圧に覆われて晴れた日が多く、春の日照時間は1946年の統計開始以来最も多く、記録的な多照となった。また、晴れて強い日射の影響を受けたことや暖かい空気が流れ込みやすかったため、春の平均気温は高かった。

気温は、3月、5月はかなり高く、4月は低かった。3か月平均気温は高かった。

降水量は、5月は少なかった。3か月合計の降水量は平年並だった。

日照時間は、3月は多く、5月はかなり多かった。3か月合計の日照時間はかなり多かった。

2. 3か月平均（合計）と月別の平均気温・降水量・日照時間の平年差（比）と階級

北陸地方平均	3～5月	3月	4月	5月
平均気温平年差 階級	+0.9℃ 高い	+1.6℃ かなり高い	-0.7℃ 低い	+1.6℃ かなり高い
降水量平年比 階級	89% 平年並	91% 平年並	114% 平年並	64% 少ない
日照時間平年比 階級	123% かなり多い	109% 多い	97% 平年並	156% かなり多い

※北陸地方平均とは、北陸地方にある気象官署及び特別地域気象観測所（9地点）ごとの平年差（比）を平均したものです。

3. 月別の天候経過

（3月）【天気は数日の周期で変化、南から暖かい空気に覆われやすかった。かなりの高温、多照】

上旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。暖かい空気に覆われて晴れた日が多く、かなりの高温、かなりの多照となった。平均気温は1961年の統計開始以来、3月上旬として最も高くなった。中旬は、期間の中頃にかけて気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、強い寒気の影響で雪が降り、平地でも積雪となった日があった。その後は、高気圧に覆われて晴れた日が多くなった。下旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。

（4月）【天気は数日の周期で変化、上旬は寒気の影響を受ける。下旬は気圧の谷や湿った空気の影響で雨の日続く。低温】

上旬は、高気圧に覆われて晴れた日もあったが、気圧の谷や寒気の影響で曇りや雨の日が多く、期間のはじめは寒気の影響で雪が降り、平地でも積雪となった所があった。中旬は、低気圧と高気圧が交互に通過し、天気は数日の周期で変わった。下旬は、期間のはじめと終わりは高気圧に覆われて晴れた日が多くなったが、期間の中頃は気圧の谷や湿った空気の影響で雨の日が多く、かなりの多雨、かなりの寡照となった。

（5月）【高気圧に覆われて晴れた日が多かった。また、暖かい空気に覆われやすく気温は高い日が続いた。かなりの高温、少雨、記録的多照】

低気圧や前線は日本の北を通ることが多く、高気圧に覆われて晴れた日が多かったため、月の降水量は少なかった。晴れたことによる強い日射の影響に加え、中旬は日本の東に中心を持つ高気圧から、また下旬は西から暖かい空気が流れ込み、中旬・下旬ともに、かなりの高温となった。このため、1961年の統計開始以来、旬の平均気温は、中旬で高い方から2位を更新し（1位は2001年、平年差2.9℃）、下旬は高い方からの極値を更新した（平年差2.6℃）。また、月間日照時間は5月としてすべての気象官署で多い方の極値を更新し、北陸地方平均では1946年の統計開始以来、最も多い、記録的な多照となった。

4. 大気の流れから見た今春の特徴 (500hPa 天気図)

	<p>3～5月 日本付近は弱い負偏差に覆われているが、大陸には正偏差がみられ、弱い東谷の流れとなっている。このため、低気圧や湿った空気の影響を受けにくく、高気圧に覆われて晴れた日が多かった。</p>
	<p>3月 極付近は負偏差が明瞭で、寒気は極付近に蓄積されやすかったが、欧州付近から日本付近にかけては、正偏差、負偏差が交互にならび、日本付近では弱い負偏差となっており、寒気が南下する時期があった。日本の東海上では正偏差で日本付近には暖かい空気が流れ込みやすい流れとなった。</p>
	<p>4月 東シベリアで正偏差の一方、日本付近から日本の東は負偏差となった。また、チベットから東シナ海付近にかけて正偏差となった。このため、日本付近では北西からの大気の流れとなり、北日本から西日本では寒気の流れ込みやすい時期があった。また、移動性高気圧に覆われる日が多く、北日本を中心に低気圧の影響を受けにくかった。</p>
	<p>5月 オホーツク海付近に明瞭なリッジがみられ、北日本を中心に暖かい空気に覆われた。また、日本の南はトラフとなり、日本付近は偏西風が弱かった。このため、北日本から西日本にかけては低気圧や前線の影響を受けにくく、高気圧に覆われやすかった。</p>

図：500hPa 高度・偏差（等値線間隔 実況（実線）60m、偏差（破線）30m） 陰影域は負偏差

5. 参考資料

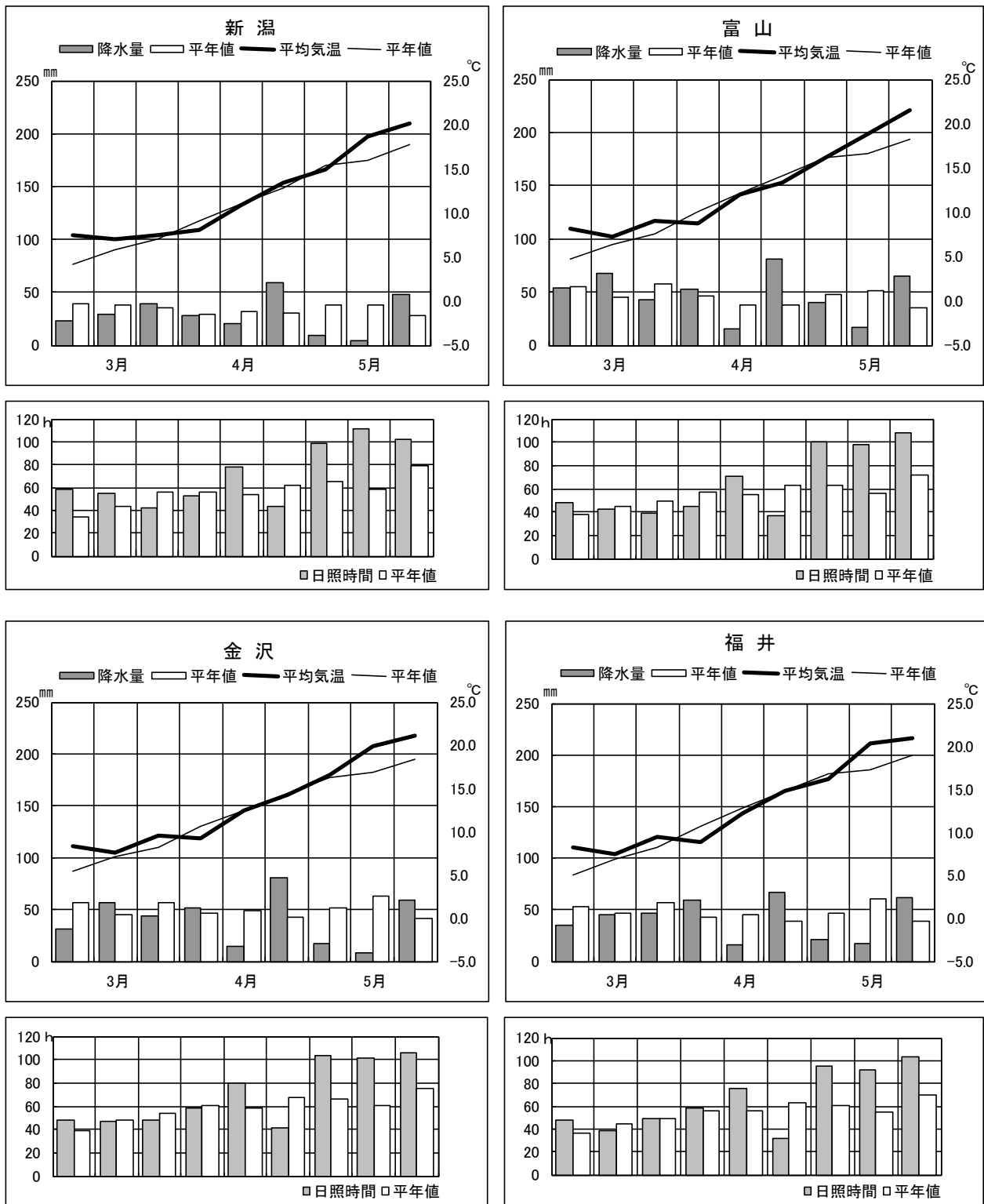


図1 新潟・富山・金沢・福井 旬平均気温・降水量・日照時間時系列

表1 北陸地方における3～5月の平均気温・降水量・日照時間

平均気温	3月		4月		5月		3か月平均	
	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)	実況値 ℃	平年差℃ (階級)
新潟	7.2	+1.5(++)	10.8	-0.2(O)	18.0	+1.6(++)	12.0	+1.0(++)
高田	7.3	+1.9(++)	10.7	-0.8(-)	17.8	+1.2(++)	11.9	+0.8(+)
相川	7.9	+1.7(++)	10.6	-0.6(-)	17.3	+1.8(++)	11.9	+0.9(+)
富山	8.2	+1.9(++)	11.3	-0.8(-)	18.9	+1.9(++)	12.8	+1.0(+)
伏木	7.7	+1.5(++)	10.7	-1.0(-)	18.1	+1.7(++)	12.2	+0.8(+)
金沢	8.5	+1.6(++)	12.0	-0.5(-)	19.2	+2.1(++)	13.2	+1.0(++)
輪島	7.0	+1.3(++)	10.2	-0.8(-)	17.2	+1.5(++)	11.5	+0.7(+)
福井	8.4	+1.6(++)	12.0	-0.8(-)	19.3	+1.6(++)	13.2	+0.8(+)
敦賀	9.2	+1.4(++)	12.7	-0.5(-)	19.2	+1.4(++)	13.7	+0.8(+)
北陸平均		+1.6(++)		-0.7(-)		+1.6(++)		+0.9(+)

降水量	3月		4月		5月		3か月合計	
	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)	実況値 mm	平年比% (階級)
新潟	92.0	82(-)	107.5	117(O)	62.0	60(-)	261.5	85(-)
高田	179.5	92(O)	128.5	134(+)	61.5	64(-)	369.5	96(-)
相川	101.5	110(+)	91.0	103(O)	40.5	38(-*)	233.0	81(-)
富山	165.0	104(O)	148.5	122(+)	122.0	91(O)	435.5	105(O)
伏木	130.0	93(O)	118.0	104(O)	92.5	74(O)	340.5	90(O)
金沢	131.5	83(-)	146.5	107(O)	84.0	54(-*)	362.0	80(-)
輪島	111.5	84(-)	122.5	108(O)	55.5	43(-)	289.5	77(-)
福井	126.0	80(O)	143.0	112(O)	99.5	68(-)	368.5	86(-)
敦賀	142.5	95(O)	145.5	123(+)	122.5	86(O)	410.5	100(O)
北陸平均		91(O)		114(O)		64(-)		89(O)

日照時間	3月		4月		5月		3か月合計	
	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)	実況値 h	平年比% (階級)
新潟	154.2	116(+)	173.9	102(O)	312.3	155(++)	640.4	127(++)
高田	155.5	129(++)	170.3	94(O)	302.8	154(++)	628.6	126(++)
相川	144.2	109(+)	188.8	106(O)	311.5	160(++)	644.5	127(++)
富山	129.8	99(O)	151.7	87(-)	306.6	160(++)	588.1	118(++)
伏木	136.2	103(O)	160.4	90(-)	307.8	157(++)	604.4	119(++)
金沢	142.6	101(O)	179.3	97(O)	310.4	153(++)	632.3	120(++)
輪島	157.6	124(++)	193.4	103(O)	307.2	152(++)	658.2	127(++)
福井	136.0	105(O)	165.1	95(O)	289.9	157(++)	591.0	121(++)
敦賀	121.4	98(O)	169.5	101(O)	280.0	159(++)	570.9	122(++)
北陸平均		109(+)		97(O)		156(++)		123(++)

注1) 平年値は1981～2010年の資料から求めています。なお、新潟は観測場所の移転により、気温の平年値(統計期間1981～2010年)を更新しています。

注2) 階級欄の符号は、以下の事を示します。

(-) : 低い(少ない), (O) : 平年並, (+) : 高い(多い)

(-*) : かなり低い(かなり少ない), (++) : かなり高い(かなり多い)

注3) 値の横に) や] がある場合には、使用したデータに欠測等が含まれていることを示し、×は欠測を示します。

) 付きの値は正常の値とみなせますが、] 付きの値は欠測等が多いため正常な値と同等とはみなせません。

このため、統計日数(統計に用いた品質が十分な日数)を气象台等に確認して、品質を確かめてください。

注4) この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。

なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。

表2 北陸地方における3～5月の累年極値・順位（3位以内）更新

◎月平均気温の高い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 ℃	平年差 ℃	これまでの最高（西暦年） ℃	統計開始 年	平年値 ℃
3	2	相川	7.9	+1.7	8.0 (2002)	1912	6.2
	3	高田	7.3	+1.9	7.6 (2018)	1922	5.4
		富山	8.2	+1.9	8.7 (2018)	1939	6.3
		金沢	8.5	+1.6	9.0 (2002)	1882	6.9
5	2	相川	17.3	+1.8	17.4 (2016)	1911	15.5
		富山	18.9	+1.9	19.6 (2015)	1939	17.0
		伏木	18.1	+1.7	18.8 (2015)	1884	16.4
	3	金沢	19.2	+2.1	19.5 (2015)	1882	17.1
		福井	19.3	+1.6	19.7 (2015)	1897	17.7

◎月間日照時間の多い方からの順位更新

月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最高（西暦年） h	統計開始 年	平年値 h
5	1	新潟	312.3	155	263.6 (1940)	1892	202.1
		高田	302.8	154	281.0 (1940)	1922	196.3
		相川	311.5	160	278.0 (1911)	1911	195.0
		富山	306.6	160	273.9 (1940)	1939	191.1
		伏木	307.8	157	274.6 (2015)	1893	196.1
		金沢	310.4	153	295.5 (1891)	1891	202.3
		輪島	307.2	152	289.2 (1940)	1929	201.9
		福井	289.9	157	263.9 (2015)	1898	185.0
		敦賀	280.0	159	269.4 (1940)	1914	176.6

※金沢の月間日照時間の統計開始年を1929年から1891年に訂正しました。

◎3か月間の日照時間（多い方から）の順位更新

月	順位	官署	実況値 h	平年比 %	これまでの最高（西暦年） h	統計開始 年	平年値 h
3-5	1	新潟	640.4	127	609.6(1940)	1892	504.2
		相川	644.5	127	634.7(1961)	1912	505.9
	2	高田	628.6	126	678.2(1940)	1922	497.8
		伏木	604.4	119	613.4(1940)	1893	505.9
		金沢	632.3	120	669.6(1891)	1891	529.0
		輪島	658.2	127	667.1(1931)	1930	516.8
	3	富山	588.1	118	640.0(1940)	1939	497.2
		福井	591.0	121	597.5(1919)	1898	489.4

6. 天候情報発表状況

なし

（注）この季節のまとめは、北陸地方の気象官署および特別地域気象観測所における気象観測値等をまとめたものです。なお、資料は速報値であり後日の調査で修正されることがあります。